

# 第一回常陸宮杯・常陸宮妃杯全日本大学ゴルフ選手権 関東地区予選会 感染対策要項

2022年8月26日  
関東学生ゴルフ連盟  
感染対策委員会

## 目次

はじめに・・・コロナ禍での競技参加者としての心得について	2ページ
1, 競技前14日間において	3ページ
2, 本競技における感染対策の説明	3～6ページ
<b>本競技は、選手・関係者全員に試合前抗原検査を実施します 検査実施とその報告方法について (重要)</b>	
3, 競技当日において	6～8ページ
3-1) 入場チェック前にお願いしたい約束事	
3-2) 入場前の検温と「体調管理チェックシート」の提出義務	
3-3) 「学校バブルシステム」遵守	
3-4) プレー中以外は「マスク着用」の徹底	
3-5) 発熱、咳き込む、熱中症、体調不良に関して	
3-6) レストラン利用について	
3-7) 指導者の方の競技場入場について	
4, その他	8～9ページ
4-1) カートの乗車について	
4-2) 所属大学当局からの部活動指針について	
4-3) <b>熱中症へのケアについて</b>	
4-4) 競技会場往復時の安全運転励行について	

はじめに

選手並びに関係者の皆さまへ

首都圏の感染者数が、未だ好転していないどころか、感染が依然、蔓延している状況下での競技開催に、ご理解とご協力の意を示して頂き、誠にありがとうございます。

競技開催に際して、先の7月11日、27日、8月14日にホームページに掲載させて頂いた

**【競技開催における感染対策についてのお知らせとお願い】**を熟読・周知し、今まで同様、自制的な生活を励行して頂き、秋以降の団体戦・個人戦に臨んで頂きたいと存じます。

また栄えある、第一回目の常陸宮杯・常陸宮妃杯の開催に伴い、本連盟においても「関東地区予選会」を行うに至りました。この名誉ある大会においても、今まで同様の感染対策を行ない、感染によるリタイアや体調不良者を出すことなく、無事、競技の遂行ができるよう、皆様のご協力をお願いする次第です。

今一度強く意識して頂きたいのは、

**「競技2週間前において、ガイドラインに則った生活を励行」して頂くことです。**

その生活様式を皆さんが励行して頂ければ、大きな感染の広がりや押し寄せ、円滑な競技運営に繋げることが可能となります。

たった一人の気の緩み、ガイドラインとは異なる行動を取ったことによる感染は、かなりの確率で周囲を巻き込み、クラスターが発生した場合は、試合の中断・中止を余儀なくされます。

本連盟としても、アクシデントや離脱者を出すことなく、安心・安全な競技運営に努めてまいりますので、何卒、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

関東学生ゴルフ連盟  
感染対策委員会リーダー 金井 毅  
感染対策委員会一同

## 1, 競技前 14 日間において

1-1) 今一度、ガイドライン P27~P44 の熟読をお願い致します。(詳細を記載しています)

1-2) また「当該競技 7 日前の宿泊或は、宿泊を伴う練習・ラウンド」を行なう場合、学連所定「宿泊申請フォーム」の提出義務はなくなりましたが、各校責任者(指導者の方々、主将主務)の統制のもと、正しい運営を行なって下さい。

\*イレギュラー事項や迷った場合などは、従来通り「宿泊申請フォーム」をご提出下さい

## 2, 第一回常陸宮杯・常陸宮妃杯、予選会における感染対策の説明

第一回常陸宮杯・常陸宮妃杯予選会(9月24日練習日・本競技25日)は、

「一日競技」ではありますが、前日に指定練習日を設けており、少なくとも1泊2日以上となることを鑑み、選手、指導者の方々に対して、以下の感染対策並びに検査スキームを組みますので、熟読、周知徹底の程、宜しくお願い致します。

### ◎本競技は、試合前に抗原検査を行ないます

**\*ワクチン接種、未接種に関わらず、選手・関係者全員に実施させていただきます**

#### ★検査を行なう理由として

8月の関東学生・女子学生本選の試合前検査において、延べ17名の陽性者が発覚し、加えて競技開始後も、競技中に2名の陽性者がみとめられており、本連盟の感染対策委員会としては、事前に対象者全員の抗原検査を行ない、お世話になるコースへ「陰性」にて入場し、万全を期して競技開催に臨むことを決定致しました。

\*現在の感染者において、「無症状感染者」が少なからず若年層にみとめられている点とワクチン接種者においても感染事例が顕在している実状を考慮すると、検査ナシではリスクが大きく、クラスター回避の見地でもケアする必要があることをご承知おき下さい。

## 2, 検査方法とそれに対する諸注意事項

選手・関係者は、後述する日程に、抗原検査を行なって下さい。

検査に関して、以下の2つのケースを想定して、ご説明させていただきます。

ケース1、一つの大学から、選手1名の参加の場合

ケース2、一つの大学から、複数の選手が参加の場合 どちらのケースにおいても

**検査キットは、お手数ですが各自・各校で購入なり、お手配をお願い致します。**

ご負担頂いた分に関して、本連盟費用負担は、一人当たり税込1000円とさせていただきます。

本連盟から、その1000円×人数分の金額を、大学単位で競技会場にてお支払い致します。

\*帯同の主務(又は準ずる者)は各校1名まで(その1名は学連で負担)

指導者の方は自己負担お願い致します（1校、3名まで）。

★参考までに本連盟がお取組みしている「Anywhere（エニーウェア）」様 (<https://anywhere-no1.jp>) からですと「**鼻腔採取抗原検査キット**」を825円（税込）にて購入できます。  
また、無料のPCR検査を行なう場合も、同様に陰性の証明となる写真を送って下さい。

以下、対象選手、関係者用の手順説明

②-1) 検体採取実施日について

**9月21日（水）** 又は **9月22日（木）** 午前中までに**検査実施**して下さい。

**\*入替戦（9/22）に参加した大学及び選手のみ9月23日（金）までの検査実施を認可**

②-2) 検査結果報告のやり方

**9月22日（木）PM3時まで**（この時間を超えた場合、基本、受付致しません）

**\*入替戦（9/22）に参加した大学及び選手のみ9月23日（金）PM1時までの報告を認可**  
検査人数分の判定写真を所定の「**検査結果報告フォーマット**」(Excelファイル)にまとめ、  
以下のメールアドレス宛に、**大学単位でまとめて提出**して下さい。

↓

[ksga.kensa@gmail.com](mailto:ksga.kensa@gmail.com)（担当：学生感染対策委員 牛谷、新出、関谷）

**\*この判定報告を間違いなく、正確にレスポンスして頂けることが重要です。**

本競技は、エントリー締め切り時点で、出場選手が確定しており、本連盟から、大学ごとに選手名リストが記載されたフォーマットを作成しますので、そのフォーマットに陰性確認写真を提出された選手が【本競技の選手登録者】として認可されます。

**\*主務1名（又は準ずる者）、指導者3名まで 帯同される場合も同フォーマットにお名前と陰性の写真添付をお忘れないう、お願い致します。**

↓

「検査結果報告フォーマット」記入方法について

① 1シート目の「提出用紙」については、**青色で塗られている記入欄がございますので、そこに必要事項を全て記入して下さい。**

② 2シート目の「検査結果」については、シートの上部に記載されている例を参照して、検査結果の写真やスクリーンショットを載せて、名前の記入を必ず行なって下さい。

**検査結果の写真のサンプルを、以下に掲載します（要参照）**

大学名	学生連盟大学	↓該当する方に○
氏名	学連 太郎	<input checked="" type="radio"/> 加盟員 / <input type="radio"/> 加盟員以外
検査日時	2021年 8 月16日 14 時00分頃	

  

\*上記写真の検査板と実物は若干異なります

### ②-3) 検査結果判明後の段取り・諸注意事項

もしも「陽性」判定が出た場合、その方は、日本国の様式に従った行動をとって下さい。

(医師・保健所への相談・連絡)

**責任者は、まず所属大学当局にその旨の連絡を入れ、大学当局の指示・判断をあおいで下さい。**大学当局からの指示が「出場を認める」或は「出場を辞退する」など、どういう裁定にせよ、速やかに本連盟に必ずご一報下さい。

**【同一校部員から(1名以上)陽性者が出た場合、当該校の他の選手に関しては、陰性が確認され、且つ、その陽性者たちと濃厚接触(定義はガイドライン P25 参照)していないと確実に判断できるならば、出場を認可します。】**

濃厚接触者となった場合は、安全管理上、出場できません。また、少しでも不安があると自覚される方は濃厚接触者扱いとなります。感染を拡げない為にもご周知下さい。

・陽性者が認められた大学は、本連盟にも必ずご一報下さい。

(ご報告頂くことで、全容が掴むことができ、感染対策面でも役立てることが出来ます)

但し、出場を認可された当該校の選手全員(関係者含む)は、安全管理上、以下の点を留意・遵守して下さい。

① **該当競技の指定練習日前日の夕刻に必ず、抗原検査を行ない、陰性確認を行う。**

**\*ワクチン接種済み者も同様です**

→ 陰性を確認できれば出場認可、陽性の場合は出場不可となります。

②指定練習日中に、体調チェックシートに記載されている症状(発熱、喉痛、せき、倦怠感、味覚障害など)が新たに出現した場合は、基本出場停止となりますが、可及的速やかに抗原検査を行った上で、陰性ならば学連に報告をし、判断を仰いで下さい。

(陽性の場合、出場できません)

→この場合、学連側で出場継続許可の判断が下ったとしても、

試合前日の夕刻に抗原検査を行なうこととします。

これを行うことで安全確認の精度が飛躍的に増します。(寮生活や合同部活等の背景もあり、陽性者が出た場合、罹患しているにもかかわらず、1回の抗原検査では、偽陰性の可能性も否定できない為)

\*①・②の場合、検査キットは予め当該大学でご用意下さい。検査費用は当該大学負担とさせていただきます。出場できなくなる状況からレスキューする個別の措置として、ご協力ご理解下さい。(時節柄、キットは各校で十分な数量を確保しておいて下さい)

目安としては、万が一のことを考え、競技日数×人数分を用意していただくと充分です。

上記に関しては、当該校責任者(指導者の方、主将主務)管理のもと適正に行い、本連盟競技運営責任者(委員長、競技委員長、学生感染対策委員リーダー)にご報告下さい。

③また、安心・安全に運営して行く為、2名以上陽性者が存在した当該校の大学名は、当該試合に出場している他大学の責任者(指導者の方、主将主務或は準じる者)にはお知らせをし、学校バブルシステム施行する際の注意喚起(濃厚接触、ソーシャルディスタンスなど)としてケアらせて頂きますので、ご承知おき下さい。ガイドラインに従って試合当日の行動を徹底すれば学校内の感染までで留められるはず(公共の福祉を乱さない)という基本概念により、こういった周知がより感染拡大予防(公共の福祉)に貢献すると判断した次第です。

### 3、競技当日において

検査免除時の行動基本は「自身が感染者と仮定して、他人にうつさない立ち居振る舞い」をすることです。もちろん、他人からウイルスをもらわない行動を取ることも自衛の意味で必要です。競技当日はこのパフォーマンスが重要となります。

#### 3-1) 入場チェック前にお願いしたい約束事 (指定練習日含む)

感染対策の大切なポイントとして、選手自身及び責任者(指導者、主将、主務)の方は、以下の点を必ずチェックして下さい。

1、当日の朝(試合会場へ出発前)に、発熱症状(平均体温より1度を超えて高い場合)或いは体調を崩している者がいないか？！

\*上記に該当する選手は、感染対策の見地で絶対にコース入りをさせないで下さい

2、「体調管理チェックシート」を忘れていないか？また、記入漏れ(特に平均体温や氏名、連絡先など)がないか？「体調管理チェックシート」は、発熱や体調不良でクリニック・病院での受診の際に、とても大切な問診資料として役立ちます。

### 3-2) 入場前の検温と「体調管理チェックシート」の提示義務 (指定練習日含む)

出場選手 (関係者含む) は「検温」を本連盟が設置する入場口にて、おこなって頂きます。その際、平均体温より1度を超えて高い、もしくは37.5度以上の者は入場不可です。同時に、「体調管理チェックシート」を提示して頂きます。

指定練習日含め、未提出者は入場不可です。

\*特に未提出や記入不備、その場で適当に記載した場合、感染対策の意識が希薄と判断し、安全管理上、入場を固くお断りしますので、ご留意下さい。

(本年度は、検査免除の競技も多く存在し、上記の赤文字部分は厳しくチェックさせていただきますので、しっかり遵守して頂けるよう、ご留意下さい)

### 3-3) 「学校バブルシステム」 遵守

①普段から学校単位での感染対策の更なる徹底をお願い致します。

②競技会では、学校単位での接触活動のみにとどめることを徹底し、

学校を超える選手間・関係者間の濃厚接触を完全に避けることとします。

- ・朝の入場時は、他校選手との濃厚接触を避けるようケアして下さい。
- ・プレー中もソーシャルディスタンスをとり、他校選手との濃厚接触を回避して下さい。
- ・当日の来場も、同じ大学単位で来場。練習場、練習グリーンも濃厚接触を避けて下さい。
- ・猛暑や大雨など、諸状況でロッカー利用許可が出た場合や、クラブハウス及びその周辺待機の場合でも、同じ大学単位での行動指標を念頭に置いて下さい。

このシステムを遵守して頂くことで、万が一、感染者が認められても「濃厚接触は当該大学の選手、関係者のみ」となり、その日の競技を中止せず、継続することが出来ます。

\*その選手、関係者自身は競技場から退場。濃厚接触の当該大学の他の選手、関係者も、競技場から退場となります。

### 3-4) プレー中以外は「マスク着用」の徹底

スタート集合時、アテスト時、トイレ利用時は、マスク着用を基本とし、

飛沫の出るような私語は厳禁とします。(ショット・パター練習時マスク着用は必須とはしていませんが、大声の発声を行った場合は下記の様な退場処分となります)

\*私語や大声の会話を注意される、マスク未着用を注意される等、感染対策上の落ち度を、**2回以上受けた者は、反省の意がないと判断し、退場して頂きます。**

### 3-5) 発熱、咳き込む、熱中症、体調不良に関しては、下記の点をご注意ください。

①上記の顕著な症状が、競技中に認められた場合は、症状を隠すことや、無理をすることはせず、遠慮なく学連関係者へ申し出て下さい。(その勇気によって、競技進行が大事に至らず、ご自身・参加者の「命」「健康」を救う判断となります)

②競技数日前から体調不良の自覚がある場合は、必ず部の責任者に申し出ること。

③熱中症を防ぐ意味でも、十分な睡眠、小まめな水分補給を試合当日はもちろん、普段から怠らないようお願い致します。\*日傘は必ず持参すること

(感染対策上、「熱中症のリスクでマスク未着用の場合は日傘必須」のローカルルールを設定することがございます。 \*ガイドライン P41 参照)

#### ④「熱中症」へのケアについて

この時期、感染症と共にケアしなければならない一つに熱中症が挙げられます。

その症状は、脱水症状はもとより、発熱や意識の朦朧、息苦しさも見られ、コロナ感染症にも類似しており、より一層の注意が必要です。

##### 試合前、試合中でのお願い

- ・試合に臨むにあたり、体調管理に努める(特に寝不足、疲労、食生活の乱れは要注意)。
- ・水分補給→最低でも1日2~3リットルの水やスポーツドリンクでこまめに補給する。
- ・体温調節→直射日光を避ける「日傘」はマストアイテム(日傘をさすこと励行)!

#### 3-6) レストラン利用について

ワンラウンドスループレーのため、レストラン利用は不可(指導者の方は下記参照)

#### 3-7) 指導者の方々の競技場入場について

1校につき指導者の方は、計3名まで入場可とさせていただきます。(検査陰性の方が入場可)それ以外の方々は(OBや父兄など)は入場できません。

\*指導者の方のレストラン利用は認可します。但し、学校バブルシステム施行にご協力頂き、同一校内でのご利用と致します。長時間利用は避け、利用後は速やかにご退席下さい

## 4, その他

4-1) 今年度から、学校バブルシステムを施行し、感染力の強い新株からの感染をガードする為に、カートへの乗車は不可としています。(ガイドライン P42)

\*カートに複数乗車した場合、風下の人には感染リスクが高いこともデータ上、報告されています

カートにキャディーバッグを積み、プレーヤーは歩いて下さい。

自走式カートの場合、運転する選手1名のみ乗車とします。特定の選手に運転が偏らないように、各組で助け合って、運転の分担をご配慮下さい。

(ホール間インターバルが、歩くには物理的に時間がかかり過ぎる長距離の場合、ローカルルールを会場ごとに設定し、黙乗車・マスク着用にて乗車可とするケースはありますが、基本、プレーヤーは歩く!とします。また春季対抗戦で散見された、複数名でカートに乗車し、スコア確認する行為は絶対に行なわないで下さい)



また、刻々と変わる感染状況或は天候や環境変化を鑑み、追加の感染対策や感染対策のローカルルールを発信する場合もございます。その場合、主務連絡網やホームページ、試合会場掲示板或は委員長、競技委員長からの通達を通してご一報させていただきますので、ご確認の程、お願い致します。

4-2) コロナ禍における各大学当局の部活動制限は、大学ごとに若干の差や違いがあると思われる。自身の大学の部活動において「部活停止や自粛」あるいは「試合出場不可」などの制限が出ている場合、大学の許可がなければ本連盟競技に出場できません。大学からの情報を常にご確認下さい。(大学からの指示が急に出る場合もございます) 前述のような制限が出ていたにもかかわらず、無許可で本連盟競技に出場した事実が判明した場合は、本連盟規約第13章第73条を適用させていただきます。

4-3) 脱衣所、シャワー利用に関しては、可とします。

季節柄、大雨や猛暑も考えられ、健康面を考慮し、利用を認めることとします。

但し黙利用でディスタンスを保って、シャワーのみの短時間利用(15分程度)とします。

4-4) 自家用車での往復に際しては、各自が気を付けて安全運転に努めて下さい。また、日々の競技終了後は速やかに帰路(宿泊先への帰路含む)について下さい。

以上です。

ここに来て、感染状況が肥大化しつつあり、いよいよ本連盟にも、各校から合宿等で「罹患した」旨の報告も多くなっております。

また、個人戦である関東学生・女子学生本選の事前検査でも延べ17名の陽性者欠場が顕在しました。

加えて、同競技において、競技中に熱中症、体調不良でのリタイアだけでなく、陽性者発覚もみとめられ、安全管理上、とても厳しい実状となっております。

競技中において、複数感染者を出してしまった場合、色々な面で多大な影響があり、加えて競技場での感染発覚、それによる混乱の懸念も考えられます。

**どうか、各校・各自で試合前の水際感染対策の大切さを重視して頂き、選手・関係者の皆さんが、健やかな体調で本競技に臨めるよう、尽力して頂ければ幸いです。**

本連盟としても事前準備含め、より円滑に推進できるように努めます。

選手・関係者の皆様には細かい段取りを強いらせてしましますが、感染対策の見地で、安心・安全な競技開催を具現化する為の大切な行動指標として、ご理解頂ければ幸いです。宜しくお願い申し上げます。